



▲手も足も砂だらけになっての彫刻づくり。表面を固めていく手にも力が入ります。

本山小学校 海の学習

5月31日、本山小学校の恒例行事、海の学習が行われ、きららビーチ焼野に集まった全校児童260人が砂の彫刻づくりに挑戦しました。冷たい砂の感触を楽しみながら、竜王山やヒメボタル、アニメのキャラクターなどの彫刻を完成させた児童は、本山の恵まれた自然の中で、初夏のさわやかな一日を満喫しました。



▲「ここにも梅の実み一つけた！」みんな、たくさん採れたかな？

高泊小学校 梅もぎ

6月7日、高泊小学校では梅もぎが行われました。汗ばむほどの陽気の下、1年生から6年生まで、全校児童224人でたわわに実った梅の収穫です。採れた梅は、各自持ち帰り、それぞれの家庭で調理されます。甘酸っぱいジュースにシロップ、それから酸っぱい梅干し。みんなは何が好みかな？

アサリの天敵「ナルトビエイ」食材へ



▲陸へと次々に運ばれるナルトビエイ。約2時間で408匹が捕獲されました。



▲これまで食用には不向きとされ、飼料として活用されてきました。



▲次々と切り身に加工されていきます。今後どんな食材へと生まれ変わるのか楽しみです。

山陽小野田市近海で大量発生しているナルトビエイの駆除作業が、5月30日刈屋漁港沖で行われ、408匹が捕獲されました。アサリなどの二枚貝を好んで食することから、アサリの漁獲量激減の原因とされているナルトビエイですが、今年は食材化に向けた新たな取り組みとして、“水揚げ”された一部が漁港近くの水産会社に持ち込まれ、早速切り身へと加工されました。今後、保存方法や調理方法を調査・研究したのち、新たな特産品の開発、学校給食等への活用が期待されます。**【問い合わせ先】農林水産課 (☎ 82-1153)**